

# 中学生の職業観養う

（生き方）へ生かしてほしいとも。ゲストティーチャーに感謝の意を表すため、同23日の当RC例会に招待した。その場で、会長である私から感謝状と記念品を手渡した。

奈良市では、自らの人生を主体的に生きようとする意欲や態度、そして自己の問題を適切に処理する力などの育成に力を入れている。

奈良西ロータリークラブ（RC）青少年奉仕委員会では、同市立登美ヶ丘北中学校の教育活動に

ことし3月1日には、1年生対象の「労働に学ぶ」をテーマにした授業が行なわれた。ゲストテ



例会で記念撮影する（右から）下村由加里奈良西RC青少年奉仕委員長、松谷亮平氏、下村美香氏、大濱正徳会長、林由恵氏、吉田哲三氏、伊賀聖史氏、=3月23日、奈良市法華寺町の奈良ロイヤルホテル

奈良西

ロータリークラブ

便り

32

奈良西ロータリークラブ会長

大濱 正徳さん（80）

協賛している。同校では「関わる力」「活用する力」「挑戦する力」「見通す力」を育むことを目的に、キャリア教育に取り組んでいる。

奈良西ロータリークラブ（RC）青少年奉仕委員会では、同市立登美ヶ丘北中学校の教育活動に

ことし3月1日には、1年生対象の「労働に学ぶ」をテーマにした授業が行なわれた。ゲストテ

（生き方）へ生かしてほしいとも。ゲストティーチャーに感謝の意を表すため、同23日の当RC例会に招待した。その場で、会長である私から感謝状と記念品を手渡した。

イーチャーは、読売新聞奈良支局長の藤井泰介氏▽自衛隊奈良地方協力本部の伊賀聖史氏▽ノトス代表の松谷亮平氏▽ベーカリーオーナーシエフの吉田哲三氏▽

京都府和束町活性センターの下村美香氏▽カラーグル代表の林由恵氏▽の6人。授業では、現職に就くまでの過程や仕事の内容、厳しさ、つらさ、喜び、楽しみ生きがいなどを、それぞれ語られた。

子どもたちには、社会で活躍する人の話を聞くことで確かな職業観を養う

（生き方）へ生かしてほしいとも。

（生き方）へ生かしてほしいとも。